

「奈良のシカ」との人身事故、交通事故の発生状況と 対策の実施状況について

1. 人身事故発生状況

今年度の人身事故は、令和 6 年 2 月 29 日時点で 100 件となっている。令和 3 年度以降、インバウンドが徐々に戻ってきているが、外国人の人身事故発生件数は令和元年度以前に比べると非常に少ない。そのうち、日本人の事故件数は 45 件であり、令和 4 年度の 56 件、平成 30 年度の 47 件に次ぐ件数であった。

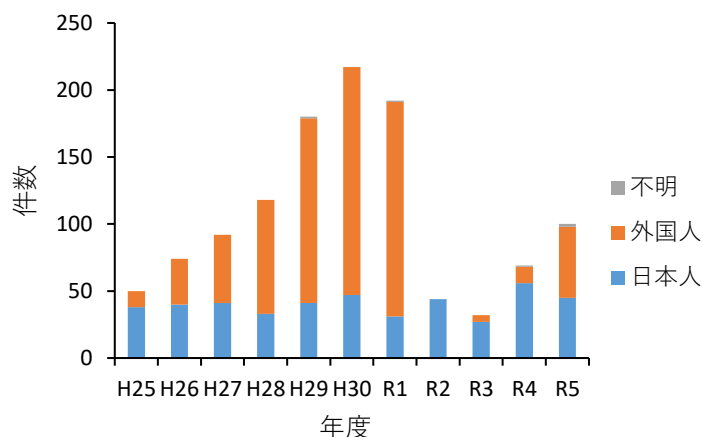


図 1 人身事故の発生件数 (奈良公園のシカ相談室資料)
※令和 5 年度は 2 月 29 日時点

昨年度 (令和 4 年度) の人身事故発生状況の詳細

令和 4 年度の月別人身事故発生件数は、9 月にピークがあり、次いで 5 月、3 月であった (図 2)。外国人観光客は令和 5 年 1 月から増加しており、3 月の発生件数が増加したのは観光客の増加に伴うものと考えられる。オスの発情期に件数が多い傾向は過年度と同様であった。他、怪我の度合い、事故に至った状況も過年度と同様の傾向であり、鹿せんべいを買おうとした時、与えている最中、与え終えた直後等に最も事故が発生していた (表 1、表 2)。

なお、なお、外国人観光客の一部は「奈良のシカ」に噛まれることによって、狂犬病に罹患することを心配しているが、1958 年以降、日本国内での感染例は認められておらず、国際的にオーストラリア、ニュージーランド等とともに日本は数少ない狂犬病の清浄国となっている。奈良のシカに噛まれた、叩かれたといった怪我で狂犬病やその他の感染症にかかった事例はない。

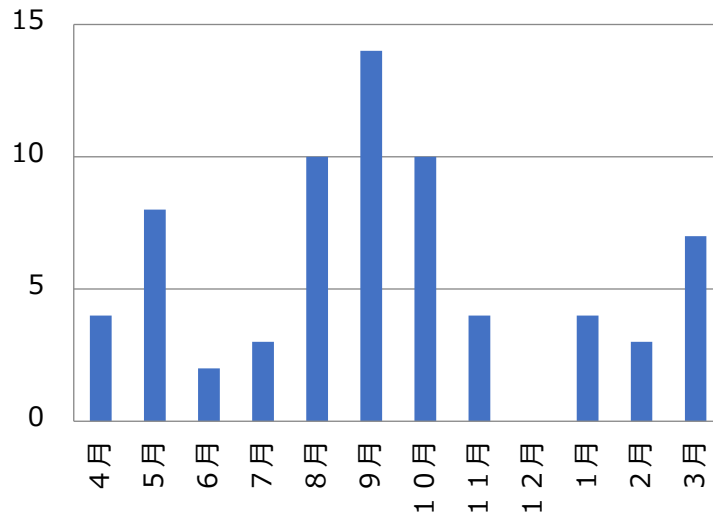


図 2 月別の人身事故発生件数 (奈良公園のシカ相談室資料)

表 1 令和 4 年度の怪我の度合別人数、割合 (奈良公園のシカ相談室資料)

怪我の度合	人数	割合
① 入院 (全て骨折によるもの)	0	0.0%
② 骨折 (入院分は含まない)	2	2.8%
③ 傷口縫合、又はステープラー止め	13	18.3%
④ 強い打撲	1	1.4%
⑤ 傷が少し深め、出血が多め。(縫合までは行かない傷)	4	5.6%
⑥ 消毒、救急絆創膏貼り程度で済む傷。軽い打撲。	50	70.4%
⑦ 詳細不明	1	1.4%
計	71	

表 2 令和 4 年度の事故に至った状況件数、割合 (奈良公園のシカ相談室資料)

事故に至った状況	件数	割合
① 鹿せんべいを買おうとした時、与えている最中、与え終えた直後等	50	72.5%
② 歩いていただけ、近づいただけ等	8	11.6%
③ 手を差し出した、指をなめさせていた、触ろうとしていた等	1	1.4%
④ 鹿の喧嘩、何かに驚いて逃げる鹿に巻き込まれて	3	4.3%
⑤ 連れていた犬が吠えた	0	0.0%
⑥ その他	2	2.9%
⑦ 原因不明	5	7.2%
計	69	

注：交通事故、関節事故はカウントしていない。

2. 人身事故対策

令和5年度の人身事故対策は、下記の項目を実施した。実施にあたっては、鹿サポーターズクラブと連携して実施した。

【過年度からの継続実施】

- ・ 鹿せんべい販売店における注意喚起看板設置
- ・ 公園内及び宿泊施設等における注意喚起チラシ配布、近鉄におけるデジタルサイネージ活用
- ・ 注意喚起看板の設置（子育て期・発情期）
- ・ 注意喚起動画の公開
- ・ 奈良の鹿愛護会、奈良公園のシカ相談室、鹿サポーターズクラブによるパトロール
- ・ 奈良公園のシカ相談室による人身事故発生時の対応（応急処置、病院の紹介等）

【令和5年度実施】

- ・ 奈良公園バスターミナルにおける写真展開催による普及啓発（人身事故、公園内ゴミ、ストップ！えさやり等）（写真1）
- ・ シカとの接し方の掲示物の貼付け（トイレ等に掲示）



写真展の状況



人身事故関連



公園内ゴミ関連



ストップ！えさやり関連

写真1 奈良公園バスターミナルにおける写真展の状況

3. 注意喚起等の啓発活動に対する観光客の反応

2. で実施してきた普及啓発について、観光客の反応には下記のようなものがあった。

- 鹿がこんなにも危険であるとは知らなかった。まずは奈良公園の入口で周知してほしい。
- 注意看板はどこにあったのか？ もっと大々的にアピールしてほしい

また、SNS 上においても普及啓発活動に対する批判的な発言が見られ、鹿サポーターズクラブによる公園内パトロール時の声かけのモチベーション低下につながる恐れがある。

4. 人身事故対策における課題

- ・ 注意喚起の継続、強化
- ・ これまで実施してきた注意喚起等の普及啓発の効果検証
- ・ パトロールの実効性を高める仕組みづくり（研修の実施、修了証の交付、手帳の作成・携行など）の具体化

5. 交通事故発生状況

令和5年度の交通事故発生状況は次ページに示す。

6. 交通事故対策

令和5年度の交通事故対策は、下記の項目を実施した。今年度は過年度からの実施事項を継続実施した。

- ・交通事故通報時の奈良の鹿愛護会による現場対応
- ・飛火野における実証実験（平成30年度～継続中）
- ・鹿飛び出し注意標識、鹿飛び出し注意反射鏡の設置
- ・事故急増箇所（焼門～転害門）沿い道路において、シカ飛出し注意標識及び立て看板の設置（令和2年度）
- ・携帯電話アプリによる啓発
- ・鹿交通事故多発リーフレットによる啓発
- ・奈良のシカ愛護月間での広報啓発



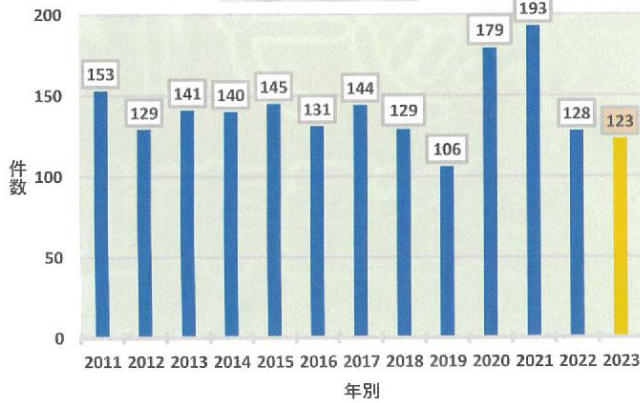
写真2 「鹿飛び出し注意」の電光掲示

令和4年11月に作成し、年末／年始に公園周辺6カ所で掲示

7. 交通事故対策における課題

- ・早朝の事故発生対策
- ・飛火野における実証実験（シカの道路横断誘導のための柵）の維持管理
- ・奈良公園内への犬の持ち込み対策

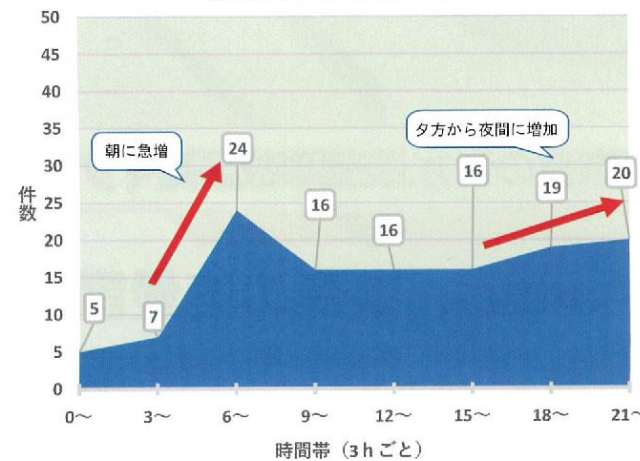
年別 交通事故発生件数



月別 交通事故発生件数



時間帯別 交通事故発生件数



2023年「奈良のシカ」交通事故多発地帯マップ

総交通事故発生件数 123件発生(うち 73頭死亡) ※ (一財) 奈良の鹿愛護会調べ



[要注意区間別順位・発生件数(死亡数)]

- ワースト1位 県庁東交差点～近鉄奈良駅前
20件発生(うち 8頭死亡)
- ワースト2位 県庁東交差点～福智院交差点
15件発生(うち 8頭死亡)
- ワースト2位 大仏殿交差点～高畑交差点
15件発生(うち 10頭死亡)

奈良公園は、天然記念物「奈良のシカ」の生息地です。人とシカの共生は世界でもここしかありません。みんなでたいせつに保護しましょう。

<みんなで守ろう「奈良のシカ」！>

- ゴミは捨てない、絶対に食べさせない。
- いたずらはしない、させない。
- 犬を捨てない、放さない。
- 食べ物は与えない。
- ※鹿せんべいはシカに与えても安心なおやつです。
- 5～7月メス、9～12月オスは、特に注意。